

職場体験で子どもを伸ばす

～村上市キャリア・スタート・ウィーク～

中学2年生が行う「職場体験学習」とは…

キャリア教育の中心的活動として、生徒が事業所などの職場で働くことを通して、職業や仕事の実際について体験し、働く人々と接することで勤労観、職業観を育てる学習です。

本市では、「村上市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会」を組織し、受入れ事業所の皆様と学校、支援組織等が連携を密にして、村上の次代を担う中学生の職場体験が価値ある活動となるよう支援しています。

職場体験の受入れには こんなメリットが！

- ◇ 次代を担う人材の育成として活用でき、事業所の地域貢献、社会的役割を具体化できます。また、地域における企業の認知度の向上にもつながります。
- ◇ 受け入れ方法を考えることが、仕事の見直しや職場の活性化につながり、社員教育の一環として活用することもできます。
- ◇ 事業や地域の課題等に取り組む内容での職場体験も可能です。中学生の考えや発想と事業所の皆様の御指導で、職場体験を機にコラボレーションできることがあるかもしれません。



<事業所>

今まで障がい者とかかわることがなかったと話していましたが、自然に利用者と接していました。福祉を身近に感じる事ができたようで、私たち障がい者施設にかかわる者として大変うれしく思っております。

<生徒>

社会人の心構えを知ることができました。職場の方は仕事の内容や分からないところを丁寧に教えてくださいました。私も配慮や気遣いを欠かさない人になりたいと思いました。

<生徒>

機械の力だけでなく人の手がたくさんかかっていること、細かい作業を一つ一つ丁寧に言い、部品を作っていることに感動しました。飛行機がより軽く安全に飛べ、乗客も安心して乗れるようにする工夫があって、社員の方の手で守られていることを感じました。

<事業所>

電力設備にかかわる仕事に少しでも興味をもていただければ幸いです。将来、進学、就職をするにあたり、電気関係の仕事が一つの選択肢になることを期待しております。

事業所や生徒、
保護者、学校から
寄せられた声
(令和6年度体験より)

<生徒>

職場は同じ職場で働く仲間、その他様々な連携によって作られるものだと思います。自分一人では全てできないし、仲間や関係する人とのコミュニケーションが必ずあって、それが重要なのだと思いました。

<保護者>

本物に触れる機会を作ってくださり、とても内容の濃い3日間を過ごすことができたと思います。「自分でできることは何か」を意識して、意欲的に取り組もうとする姿勢で臨んだことがうれしく、成長を感じました。事業所様に感謝の気持ちでいっぱいです。

<学校>

「挨拶を褒められた」「きちんと最後まで作業をやり遂げられたことを評価してもらった」等普段の学校生活で意識してきたことが職場体験先でも通用したことを実感できるよい機会となりました。また、体験後「JOBWORLD NIIGATA」に参加し多様な職種について理解を深める機会があったが、職場体験の経験が生かされ、普段以上に積極的な様子が見られました。